

2022年度自己点検・自己評価の実施について

東大阪准看護学院

当学院では学校教育法第42条に基づき、以下に掲げる基本方針に従い学校評価の取り組みを計画的に進めてまいりましたが、実施2年目にあたる本年度は対象を1年生にも広げて自己評価を行いました。

今後①学校関係者評価・第三者評価の実施に向けて学院内の体制構築の検討、②教育目標・重点目標達成のために学校運営・教育活動の評価や情報提供を効果的に進め、改善する方法としてPDCAサイクルの活用等を行いながら取り組みを深化してまいります。

○基本方針

1. 学校の教育目標・計画に沿った取り組みの達成状況、学校運営等への取り組みが適切に行われたのかについて自己評価を行い、学校運営等の課題について、継続的に改善を図るとともに、評価の結果を公表する。
2. 自己評価結果の客観性・透明性を高めるとともに、准看護師学科に関連する団体、卒業生等学校と密接に関係する者の理解促進を図り、継続した連携協力体制を確保するために、関係医療機関、卒業生等学校関係者から選任した委員による「学校関係者評価委員会」を今後設置し、「学校関係者評価」を実施する。
当該委員会の委員の助言、意見などの評価結果を学校運営等の改善に活用する。
評価結果と改善への取り組みをホームページに掲載し公表する。

○自己評価の実施について

- ・2022年度は対象を1年生にも拡大し、教職員も含め2023年2月1日現在の在籍者全員(147名)を対象としてアンケート形式で調査を実施。
- ・アンケート内容は大項目別にⅠ 教育理念・目的・育成人材像2問、Ⅱ 学校運営7問、Ⅲ 教育活動34問、Ⅳ 学修成果4問、Ⅴ 学生支援15問、Ⅵ 教育環境15問、Ⅶ 学生の募集と受入7問、Ⅷ 財務5問、Ⅸ 法令等の遵守7問を設け学生・教職員各々に該当する設問をこの中から選択して実施。
- ・アンケートは設問ごとに4段階(4:非常にそう思う、3:そう思う、2:ややそう思わない、1:そう思わない)評価で行い、項目別に平均値を集計するとともに、強み弱みの分析及び課題を抽出。

○項目ごとの評価結果(平均値)及びコメント

I 教育理念・目的・育成人材像			
	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	2.60	2.70	0.10
【1-1】 理念・目的・育成人材像			
	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	2.60	2.70	0.10
<p>☆教育理念・教育目的・教育目標は一貫性がある</p> <p>☆定期的に教育理念・教育目的・教育目標の点検・評価を行い、時代の要請・変化にあったものに修正されている</p> <p>※カリキュラム改正により一旦授業内容等とすり合わせができた状態になっているが、今後は定期的に課題整理と見直しを実施する。</p> <p>全体的にはやや改善傾向にあるものの、2項目目の点検・評価に関しては本年度の結果は2.33とまだ改善の余地を残している。</p> <p>現在の1年生から新カリキュラムに従って授業内容等見直しをしたばかりではあるが、見直すべき箇所の抽出と改善策の提案を行い、柔軟性を持たせた対応を進めたい。</p>			
II 学校運営			
	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	2.92	3.05	0.14
<p>●【2-3】から【2-5】まで各設問項目とも3ポイント以上の評価となったが、【2-2】運営方針については2ポイント台半ばと厳しい評価が出ている。</p>			
【2-2】 運営方針			
	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	2.50	2.59	0.09
<p>☆学校は、設置者の意思・指針を明確にしている</p> <p>☆学校のビジョン及び実現のための目標を策定し、教職員の共通理解を図っている</p> <p>※設置者の意思・指針については2024年度から法人の運営主体が変更となり、教職員全員への周知が十分されていないため前回調査より0.09ポイント減の2.71という結果であった。</p> <p>教職員の共通理解についても0.27ポイント改善しているものの2.47であり、運営側からの積極的な情報提供・説明の場づくりが必要だと判断する。</p>			
【2-4】 運営組織			
	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	3.11	3.36	0.25
<p>☆理事会や評議員会は寄付行為に基づき適切に開催されている</p> <p>☆理事会や評議員会の開催後には議事録が作成されている</p>			

※「寄付行為」に基づき、適切に運営し、決議録の作成・保管もできており前回調査と同様高い評価となっている。

【2-5】 人事・給与制度

	2021年度	2022年度	増減
全体平均	3.20	3.25	0.05

☆人事制度や賃金制度など規則・規程は整備されている。

☆変形労働時間制・36協定は労働基準監督署に滞りなく届出されている

※関連する規則・規程などは整備されており、教職員に配布している。

次年度の休日予定等についても教職員全員に配布し周知徹底されている。

【2-7】 情報システム

	2021年度	2022年度	増減
全体平均	2.93	3.15	0.23

☆成績管理システムや、給与管理システム、スピードック等を導入し、業務の効率化を進めている

※これまで手作業で効率が悪かった学生成績集計について新たに計算ソフトを導入して時間短縮ができたことも寄与し、今回は大幅に改善されたこともアンケート結果から伺うことが出来る。

Ⅲ 教育活動

	2021年度	2022年度	増減
全体平均	2.89	2.91	0.02

●今回特徴的な結果となったのは学生の平均評価で、中項目【3-8】～【3-11】において現2年生の平均値が前年度2年生・本年度1年生の平均値と比較してもほぼ全項目で下回る結果となっている。

現2年生については特に退学・留年者の割合が高く、卒業者は入学時点と比較して約75%まで減少している。この状況もアンケート結果に何らかの形で反映されていることも考えられる。

一方で現1年生ではほぼ3ポイント台の評価となっているため、この点については更にヒアリングなどを行い分析し、対応策を検討する必要がある。

【3-8】 目標の設定

	2021年度	2022年度	増減
全体平均	2.97	2.95	-0.02

☆卒業時において持つべき准看護師の資質を、教育目標に明示されている

◎卒業時に到達すべき状況を分析し、指導に活かしている

◎教育目標の内容は卒業時の看護実践力として評価・検討をしている

◎学年目標を意識して教育を受けている

※教職員のアンケート結果が前年に対して0.09ポイント低下しており、目標の設定自体が曖昧化している恐れがある。学年ごとに到達すべき目標や指導方針の確認、教務内の情報共有化と進捗管理をさらに徹底する必要がある。

【3-9】 教育方法・評価等			
	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	2.98	2.97	-0.01
<p>◎教え方に工夫をしている教員や外部講師が多い</p> <p>◎学生便覧や学習の手引きは学習の参考になる</p> <p>◎教職員は学生をよく聞いている</p> <p>◎教職員はどの学生に対しても平等である</p> <p>◎教職員は学生のプライバシーの保護に努めている</p> <p>◎学生の単位取得に向けた支援を実施している</p> <p>◎段階的にわかりやすいカリキュラムになっている</p> <p>◎専門性のある授業内容である</p> <p>◎教員はよく勉強し学生に伝えている</p> <p>◎わかりやすく教えるために日々努力している教員が多い</p> <p>◎教員の実習指導に満足している</p> <p>※教員自体が新型コロナウイルスによる研修機会の減少による自己学習機会の喪失や実習病院の対応によって時間が確保できず、学生との対話等の機会減少があり、前年度より評価が0.13ポイント減少している。</p> <p>これらの現象もあり学生からは教師の平等な対応について低い評価となっている。</p>			
【3-10】 成績評価・単位認定等			
	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	2.88	2.97	0.09
<p>◎各授業の単位認定の判定は納得できる</p> <p>◎学生に修了認定のための評価基準とその方法を公表しており、かつ評価について公平性・妥当性が保たれている</p> <p>※新カリキュラム導入によりこの評価は教職員・1年生を中心に高くなっている。また2年生からも公平性・妥当性については前年度より0.05ポイント上昇した評価結果となった。</p>			
【3-11】 資格・免許取得の指導体制			
	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	3.05	2.91	-0.14
<p>◎資格試験に向けて学生に合った指導・援助を行っている</p> <p>◎資格試験の合格率が100%となるよう、教職員一丸となって取り組んでいる</p> <p>※准看護師資格試験全員合格を目標として取り組んでいるが、2年生は成績不良による退学・留年者も多く出ていることから学生目線で考えた場合この影響もあり、前年度を下回る結果となってしまった。</p> <p>また【3-9】の結果にもあるが、教員自体が時間に追われて、満足のいく指導ができていないことも想定される。</p>			

【3-12】 教員・教員組織			
	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	2.54	2.64	0.10
<p>☆教員は計画的に研究調査活動に取り組んでいる</p> <p>☆教員は研修会参加、新智識・技術の習得に務めている</p> <p>☆教員は計画的に臨床看護研修に参加している</p> <p>☆教職員会議などを通じて教職員は学校の経営管理に参画している</p> <p>☆各会議は学校運営に関する論議の場として機能している</p> <p>☆学校の抱えている課題を踏まえた職場内研修を実施している</p> <p>☆学会又は研修等に参加した成果を他の教職員に還元する仕組みができています</p> <p>☆教員が計画的に臨床看護研修に参加できるよう支援している</p> <p>☆教員が計画的に研究調査活動を行えるよう体制を整えている</p> <p>☆専門領域認定が受けられるような支援体制が整っている</p> <p>☆授業計画が作成され、教育課程との整合性があり、学生が授業内容を理解できるようになっている</p> <p>◎講義概要は学生が授業内容を理解しやすく、授業と一致している。</p> <p>☆効果的な授業運営を図る為、適切な時間割を調整している。</p> <p>◎学生にあわせた授業内容や指導技術の工夫をしている。</p> <p>☆授業評価を実施し、授業内容の改善に活用している。</p> <p>※前年度と同様ウイークポイントとしてクローズアップされてしまった。 教職員の評価の内1ポイント台の項目は前年度より1つ減ったものの、全体的に改善されなかった。 教職員平均では2.24ポイント、学生平均では2.93ポイントという結果であった。</p>			
IV 学修成果			
	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	2.85	2.76	-0.09
<p>●全体的に前年度より評価が下がっている。1年生、教職員、2年生の順に評価が低くなっており、教職員が明確に目標を共有して取り組みを行えていないことに起因していると推測される。</p>			
【4-13】 就職率			
	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	2.52	2.53	0.01
◎卒業生の大阪府内就職率を高めるよう努力している			
【4-14】 資格・免許の取得率			
	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	2.98	2.83	-0.15

- ◎資格取得率に対する目標は明確に設定されている
- ◎模擬試験によって、全国平均と客観的な比較を行い、強み弱みの分析を行った上で対策を立てている

※前回調査に引き続き模擬試験は1年次より複数回実施し、結果は個別にフィードバックの上、解答の説明はしているが、個人別の強み弱みの把握等による指導までできていない。

学年の全体像把握による重点指導と個別課題克服のための指導など試験結果をツールとして活用する方法を模索する必要があるものの、実現に至っておらず、2023年度は重点的に取り組まなければならないと判断する。

【4-15】 卒業生の社会的評価

	2021年度	2022年度	増	減
全体平均	2.90	2.88		-0.03

- ◎質の高い卒業生を多く輩出するための努力を行っている

V 学生支援

	2021年度	2022年度	増	減
全体平均	2.79	2.70		-0.09

- 根本的に教員と学生の「かかわり方」について論議が必要である。
教育・就職などの相談・フォロー体制も未整備であり、年度目標の設定を2023年度は実施し、この中に学生支援についても設定して対応していく。

【5-16】 就職等進路

	2021年度	2022年度	増	減
全体平均	2.69	2.60		-0.08

- ◎就職・進学に対して指導・支援している
- ◎学校は就職や進学についての情報を知らせている
- ◎資格試験に対する情報を知らせている
- ◎資格試験対策が計画的に実施されている
- ◎進学、就職等の進路に関して学生の相談に十分応じている
※資格試験の対策や情報提供については比較的高い評価となっているが、就職・進学に対する学校側のアプローチ方法については見直す必要がある。
アプローチ不足は教職員も「自覚」していることがアンケート結果からも読み取ることができ、前年度より0.36ポイントも低下し2.74ポイントという結果であった。

【5-17】 中途退学への対応

	2021年度	2022年度	増	減
全体平均	2.85	2.79		-0.06

- ◎就学困難な学生に対する相談の支援をしている
- ◎成績不良の学生に対しては面談等の適切な指導を行っている
- ☆中途退学の要因・傾向、学年別の退学者数等を把握している

※現在学生との個別指導・面談はほぼ成績不良者に対して実施されている。
 退学に至る学生生活上の悩みや家庭的な事由による相談などはあまり実施されていない。
 悩みを持つ学生が相談しやすい環境づくりが構築されておらず、この取り組みが出来れば退学率も改善されると想定される。

【5-18】 学生相談

	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	2.93	2.85	-0.07

◎学生の学校生活上の相談に応じている

※前項と同様である。

【5-19】 学生生活

	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	2.86	2.72	-0.14

◎経済的、精神的側面から学業継続支援体制が整い、効果的に活用している

◎健康管理に対する体制が整っている

◎学生の身体的側面の健康確保に努めている

◎学生の自主的な学習の場を確保し支援している

- ・学校行事に満足している
- ・この学校で学べてよかったと思う

※設問項目のうち、5番目・6番目については学生を対象とした質問である。

この学校で学べてよかったかの問いについては1年生2.90、2年生2.71という結果であった。

この数値の改善が全体の施策の充実とリンクしており、今後も注視したい。

【5-21】 卒業生・社会人

	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	2.15	2.33	0.18

☆卒業生への支援を行っている

VI 教育環境

	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	2.98	2.89	-0.08

●引き続き備品等装置面については事業(設備投資)計画に基づき充実はさせているが、建物老朽化による漏水・外壁などの補修のウエイトが高く、施設内部の改修にまで至っていない。

防災・防犯については定期的に教育・訓練を行い、啓発活動を行っている。

【6-22】 施設・設備等

	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	2.64	2.60	-0.04

- ◎学習施設は学習しやすい環境に整っている
 - ◎教室・実習室等は授業や自習がしやすいように整備されている
 - ◎図書室は活用しやすく整備されている
 - ◎実習室は備品が揃っている
 - ◎実習目標が達成されるような実習環境が整備されている
- ※図書室についてはこれまで週2日の解放であったが、資格試験前を中心に終日開放し自習できる環境を整備した。

【6-23】 学外実習・インターンシップ等

	2021年度	2022年度	増減
全体平均	3.18	3.07	-0.10

- ◎実習における患者への倫理的配慮、患者等からの同意が得られている
 - ◎実習時のインシデント・アクシデント等を分析し、学生指導に活かしている
 - ◎臨地実習における安全対策が整備されている
 - ◎実習施設は指導体制が整っている
 - ◎実習指導者と教員の役割を明確にし、互いに協力し実習指導に当たる体制がある
- ※各項目とも3ポイント以上の高い評価となっている。指導体制について教職員の評価が上昇し、今年度は3ポイント台となった。今年度は各実習病院の教員駐在に関して欠員が生じないよう取り組んだことも寄与したと思われる。

【6-24】 防災・安全管理

	2021年度	2022年度	増減
全体平均	3.11	3.01	-0.11

- ◎緊急時の対応については知らせている
 - ◎災害など非常時の危機管理体制が整備されている
 - ◎防犯、交通安全意識の向上に努めている
 - ◎校舎内の安全管理・防災対策は整備している
 - ◎施設設備の安心・安全が確保されている
- ※校舎内の安全管理・防災対策・施設設備の安心・安全の確保については教職員・生徒とも3ポイントには至っていない。法定設備については随時不備個所の改修を行い環境維持に努めてはいるが、市貸与の築60年を超える校舎であり、躯体を含む根本的な対応ができていないため、その点に対して低い評価となってしまったと推測される。

Ⅶ 学生の募集と受入

	2021年度	2022年度	増減
全体平均	3.15	2.97	-0.18

- 学生募集に関してはこれまでホームページのリニューアル・PVやポスターの作成などイメージアップにつながる取り組みを進めてきた。

【7-25】 学生募集活動			
	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	2.96	2.90	-0.07
<p>☆学生募集の対策を取っている</p> <p>☆より多くの応募者を確保することに務めている</p> <p>◎学校の存在を周知するため、ホームページ、携帯サイトをはじめとした積極的な広報活動をしている</p> <p>※ここ最近ホームページの更新ができておらず、「鮮度」の低下が否めない。</p> <p>2023年度は法人変更もあるため、更新頻度を向上させていきたい。</p>			
【7-26】 入学選考			
	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	3.44	3.21	-0.23
<p>☆入学選考等は規程等に基づいて適切に運用している</p> <p>☆入学選考にあたり公平性を記すべく合否判定体制を取っている</p> <p>☆年次別に応募者数・入学者数、合格率・辞退率等のデータを蓄積して適切に管理し、予測数値の基礎としている</p> <p>※選考に当たっては規定に基づき公平に行っている。</p>			
【7-27】 学納金			
	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	3.17	3.25	0.08
<p>☆学費等の算定内容、決定の経過を明確にしている</p> <p>※財政面・学生の負担感など総合的に勘案し、理事会・評議員会で適切に額の決定を行っている。</p>			
VII 財務			
	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	3.34	3.22	-0.12
<p>●「学校法人会計」に基づき適切に処理を行えるようにしている。</p> <p>設備投資についても年間計画に基づき執行している。</p> <p>財務的には退学者の増による授業料収入の減少、人件費の上昇等厳しい状況が続いておりより厳しい状況となってきた。</p>			
【8-28】 財務基盤			
	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	3.15	3.04	-0.11
<p>☆設備投資は過大になっていない</p> <p>☆コスト管理を適切に行っている</p>			
【8-29】 予算・収支計画			

	2021年度	2022年度	増	減
全体平均	3.46	3.40	-0.06	
<p>★予算計画、年間事業計画を策定し、適正な予算の執行、進行管理を行っている。 ※設備投資については事業(設備投資)計画を策定、理事会・評議員会で承認された内容に基づき適切に執行している。 一方で厳しい財政状況を受け経費の削減を進めているが、教育環境に与える影響も出てくる場合も想定され、大幅な見直しが行いにくい状況である。</p>				
【8-30】 監査				
	2021年度	2022年度	増	減
全体平均	3.50	3.35	-0.15	
<p>★法に基づき適切な監査を行っている ★監査報告書を作成し理事会に報告している ※「寄付行為」に基づき適切に執行し、監査結果についても理事会・評議員会、監督官庁に遅滞なく報告している。</p>				
Ⅸ 法令等の順守				
	2021年度	2022年度	増	減
全体平均	3.09	2.93	-0.15	
<p>●法令等の順守については【9-34】学校評価で低い結果となっている。情報発信力の弱さも原因の一つと考える。</p>				
【9-32】 関係法令、設置基準等の遵守				
	2021年度	2022年度	増	減
全体平均	3.11	2.94	-0.17	
<p>◎人権意識が高められるような教育・研修を行っている ◎学生の人権が尊重されるような指導を行っている ◎学生や教職員等の人権・個人情報の保護に十分な対策がなされている ◎学生や教職員等の人権・個人情報の保護について学生、教職員に対して徹底がされている ◎省エネルギーの意識が高められている ※省エネルギーの取り組みは適切な空調温度管理を進め直近3カ月間で電気使用量を約30%減少させることができている。このような取り組みがアンケートで評価されたものと思われる。</p>				
【9-33】 個人情報保護				
	2021年度	2022年度	増	減
全体平均	3.13	3.23	0.10	
<p>★個人情報管理・情報のセキュリティ対策は整備されている ※「個人情報の保護に関する規則」、「個人番号及び個人情報取扱規則」に基づき適切に対応している。</p>				

【9-34】 学校評価			
	2021年度	2022年度	増 減
全体平均	2.47	2.46	-0.01
<p>☆学校運営に学生の意見が反映されるよう努めている</p> <p>※回答者に対するフィードバックは積極的には行っていなかったため、まず2023年度は教職員・在校生に対して結果報告を実施する。</p>			